*2017年10月改訂（第2版　新記載要領に基づく改訂、他）
2012年 8月作成

医療機器承認番号：16200BZZ00326000

機械器具　7　内臓機能代用器
高度管理医療機器　　腹膜灌流液注排用チューブ及び関連用具セット　（JMDNコード：70591000）

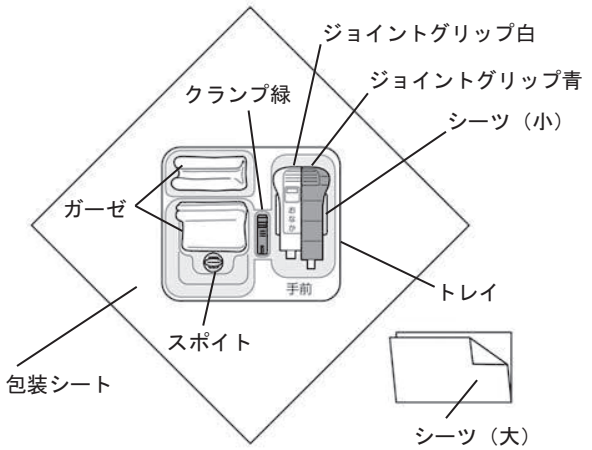
「キャプディールトランスファーチューブセット」の付属品

再使用禁止

（キャプディールPD接続チューブ交換セット）

【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
再使用禁止
＜適用対象（患者）＞
ポビドンヨード又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者。

【形状・構造及び原理等】
＜構造図＞



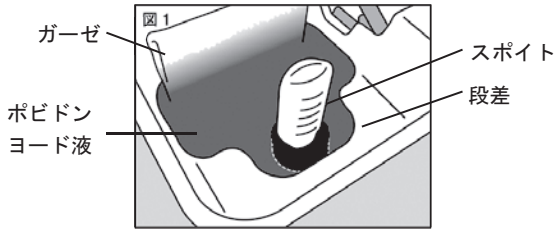
構成内容

構成品名	数量	構成品名	数量
包装シート	1枚	クランプ緑	1個
トレイ	1個	シーツ（大・小）	各1枚
スポイト	1個	ジョイントグリップ白	1個
ガーゼ	6枚	ジョイントグリップ青	1個

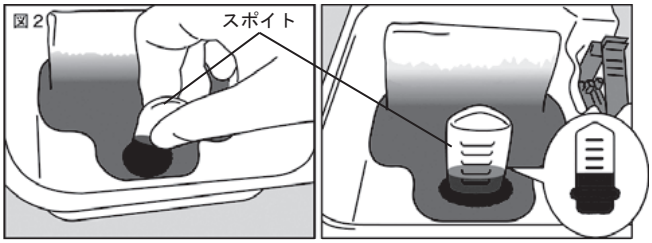
【使用目的又は効果】
＜使用目的＞
本品はキャプディールトランスファーチューブセット又はキャプディールTSCDトランスファーチューブセットをカテーテルジョイントに接続する際に使用する。
なお、キャプディールトランスファーチューブセット及びキャプディールTSCDトランスファーチューブセットは連続携行式腹膜灌流（CAPD）を行う際に灌流液の入ったバッグと腹腔内留置カテーテルを接続し、灌流液の注入又は排出を行うための器具である。

***【使用方法等】**
本品は「キャプディールトランスファーチューブセット（医療機器承認番号 16200BZZ00326000）」及び「キャプディールTSCDトランスファーチューブセット（医療機器承認番号 20600BZZ00239000）」のプラスチックジョイント仕様（以下、トランスファーチューブセット）をカテーテルジョイントに接続する際に使用する。
なお、トランスファーチューブセットは「キャプディールカテーテルジョイント（医療機器承認番号 16000BZZ01741000）」のロック式P（以下、カテーテルジョイント）と適合することが確認されている。

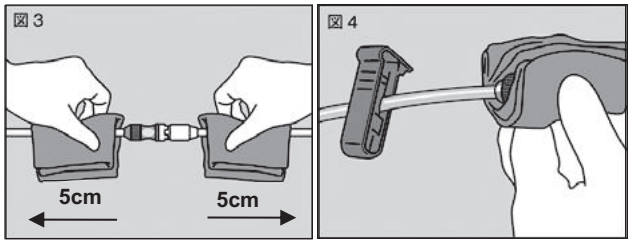
＜使用方法＞
1. 本品を使用する際は、別途ポビドンヨード液、マスク2枚及び術者に適した滅菌済み手袋2双を準備する。
2. 患者、術者ともにマスクを着用後、本品の外袋を開封する。
3. シーツ（大）のザラザラ面を上にして広げ、切り込み部分へ腹腔内留置カテーテルを挟み込むように敷く。
4. 包装シートを開き、術者から見て構造図の向きになるようにトレイを置く。
5. ガーゼ4枚が入っている液槽の段差までポビドンヨード液を注ぐ。（図1）
   注意：スポイトがトレイに立っていることを確認すること。



6. 別途準備した滅菌済み手袋を装着する。
7. スポイトのスポンジ部分にポビドンヨード液を染み込ませた後、スポイトを数回摘み、ポビドンヨード液を1目盛り以上吸い上げる。（図2）

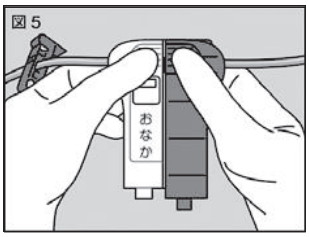


8. ガーゼ全体にポビドンヨード液を含ませた後、ポビドンヨード液を適度に絞り、元の大きさに広げたガーゼを両手に1枚ずつ持ち、カテーテルジョイントとその周辺約5cmを1分間以上よく拭く。次にポビドンヨード液を含ませた新しいガーゼでカテーテルジョイントを1分間以上よく拭く。（図3）

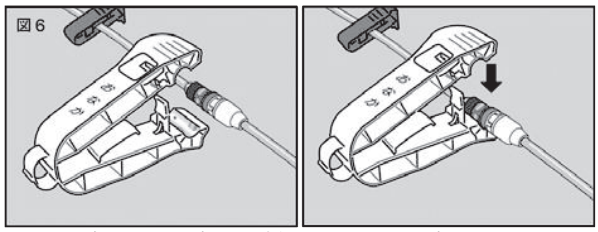


9. カテーテルジョイントから約5cm離れたところの腹腔内留置カテーテルをクランプ緑で閉める。（図4）
10. ジョイントグリップ白をカテーテルジョイント（おなか側）、ジョイントグリップ青をトランスファーチューブセットにセットする。（図5）

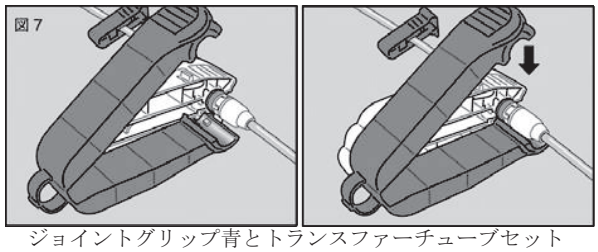
取扱説明書を必ずご参照ください。



注意：ジョイントグリップの凸部とカテーテルジョイント及びトランスファーチューブセットの凹部がはまっていること。（図6、図7）

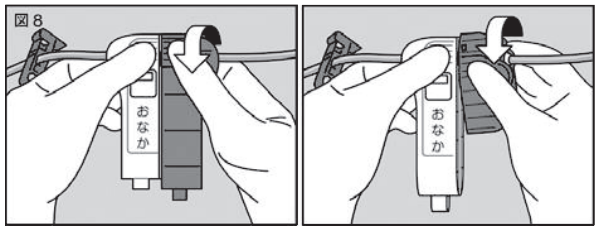


ジョイントグリップ白とカテーテルジョイント

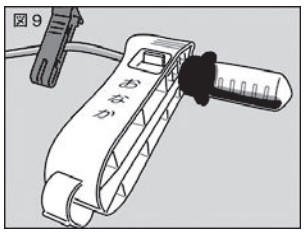


ジョイントグリップ青とトランスファーチューブセット

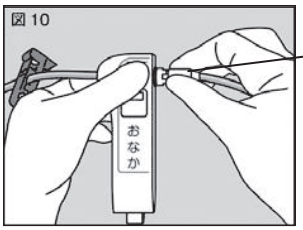
11. ジョイントグリップ青を反時計回りに回す。（図8）



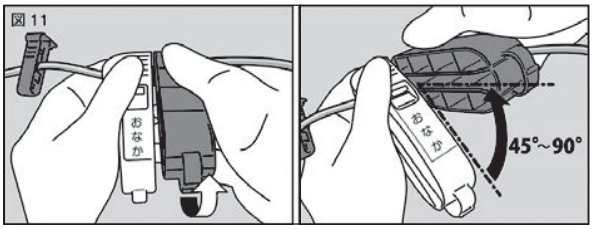
12. 緩んだらジョイントグリップ青を外して、手でトランスファーチューブセットを外す。
    注意：ジョイントグリップで腹腔内留置カテーテルやトランスファーチューブセットを傷つけないように取り扱うこと。
    外したジョイントグリップ青は包装シートの上に置くこと。
    落下菌の侵入を防ぐためにカテーテルジョイント先端を上に向けないこと。
13. ポビドンヨード液の入っているスポイトを手で持ち、スポイトから液ダレが無いことを確認後、スポイトをカテーテルジョイントへ挿入し、2回転させ、新しいシーツ（小）を敷き、5分間浸す。(図9)
    注意：液だれによりスポイト内のポビドンヨード液が無くなった場合は、再度、ポビドンヨード液を吸い上げること。



14. 手袋を外し、新しいトランスファーチューブセットを個包装から出し、包装シートの上に置く。
15. 新しく準備した滅菌済み手袋を装着し、新しいトランスファーチューブセットのローラークランプを閉じる。
16. ジョイントグリップ白を持ち、スポイトを外した後、新しいトランスファーチューブセットを接続する。（図10）
    注意：カテーテルジョイント及びトランスファーチューブセットの接続部に手が触れないようにすること。
    落下菌の侵入を防ぐためにカテーテルジョイント先端を上に向けないこと。



17. 手で隙間が無くなるまで締めた後、ジョイントグリップ青をトランスファーチューブセットにセットし、時計回りに45°～90°を目安に増し締めし、その後、ジョイントグリップ青を外す。(図11)



18. トランスファーチューブセットのローラークランプが閉じていることを確認し、ジョイントグリップ白を外す。
19. 腹腔内留置カテーテルに付けているクランプ緑を外す。
20. 貯留している透析液を排液し、接続部に残留しているポビドンヨード液を洗い流す。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

チューブは、腹腔内に腹膜透析液が貯留されている状態で交換し、交換後は排液すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**テルモ株式会社**

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター